

西村大臣の会見概要（関連部分のみ）

日時：令和２年７月２１日（火）１０：５８～１１：１９

場所：合同庁舎８号館１階Ｓ１０１・１０３ 会見室

（大臣）ＴＰＰ１１についてですけれども、今朝９時から約３０分間、カナダのメアリー・イン国際貿易大臣と電話会談をいたしました。今後の世界経済におけるＴＰＰ１１の意義、そして二国間関係などについて意見交換をいたしました。後ほど貼り出しをいたしますので、見ていただければと思います。

※記者からの質問はなし。

（以上）

(貼り出し内容)

西村大臣とメアリー・イン・カナダ国際貿易大臣との電話会議について

本日(7月21日)、9時から約30分間、西村大臣とメアリー・イン・カナダ国際貿易大臣との間で、電話会議が行われました。

両大臣は、アフター・コロナにおける TPP11の意義を中心に、幅広く意見交換をし、特に、

- ① 経済回復において、TPP11等を通じた自由貿易の推進が重要であること、
- ② TPP11がサプライチェーンの強靱化やデジタルの実装等の観点から、アフター・コロナの世界経済を進化させる上で重要な役割を担いうること、そのため TPP11 の進化が重要であること、
- ③ また、8月の第3回TPP委員会の成功に向け、引き続き協力していくこと、
- ④ 二国間関係については、TPP11に関する協力等を通じて、日加経済関係を更に強化していくこと、

について共有いたしました。

(以上)